

令和元年12月27日

クレジットカード不正利用被害の集計結果について

一般社団法人日本クレジット協会

一般社団法人日本クレジット協会（会長 山本 豊）は、クレジットカードの不正利用の実態を明らかにするため、クレジットカード発行会社を対象としたクレジットカード不正利用被害実態調査を継続的に実施しており、このたび、2019年第3四半期（7月～9月分）の集計値をとりまとめました。

これによると、今四半期の不正利用被害額は68.0億円で前期比（2019年第2四半期（4月～6月））では0.7%の減少、不正利用被害額に占める偽造被害額は4.6億円で2.1%の減少、番号盗用被害額は55.1億円で0.9%の減少、その他不正利用被害額は8.3億円で1.2%の増加となりました。

なお、前年同期（2018年7月～9月）の不正利用被害額は50.7億円であり、前年同期比では34.1%の増加となりました。

※ 詳細は、「別紙 クレジットカード不正利用被害の発生状況」を参照してください。

◎お問い合わせは下記までお願いいたします。
一般社団法人日本クレジット協会 業務企画部
〒103-0016 中央区日本橋小網町14番1号
住生日本橋小網町ビル
TEL 03-5643-0011

投稿先：東商記者クラブ・日銀記者クラブ